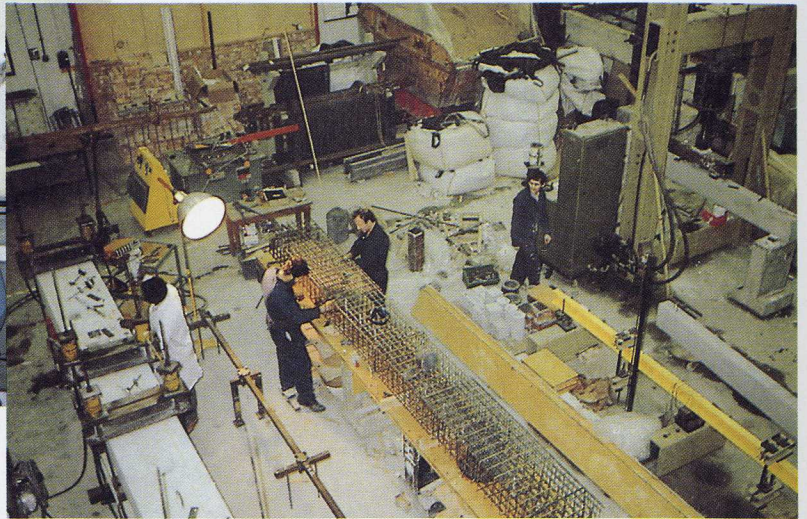




左から私、クサンティス教授（教授の研究室で）



建築構造物の実験室風景

世界の大学シリーズ(19)

ウェストミンスター大学（イギリス・ロンドン）

ウェストミンスター大学は、ロンドン市内16か所に大学施設をもつ総合大学である。この大学は、1838年にジョージ・ケーリー卿によって王立ポリテクニク研究所として創立された。

このジョージ・ケーリー卿は、アメリカのライト兄弟よりも約100年前の1799年に飛行機を発明しており、英国人は、飛行機の真の発明者はジョージ・ケーリー卿だと確信している。

この話はさておき、この大学は、1970年から名称をポリテクニク・オブ・セントラル・ロンドン（PCL）に変えた。さらに、1992年9月より現在の University of Westminster に大学名を変更している。現在は、PCL時代の6学部を統合し、理工学部、環境学部、法律・言語・コミュニケーション学部、商経研究学部の4学部と、これらの学部の複合した1つのセンターをもっている。

学部、大学院の講義だけでなく、大都会中心部にあるという地理的好条件を生かして、社会人のためのフルタイムやパートタイムのプログラムが多数用意されている。授業科目は、レベルI、II、IIIに分類され、各レベルの中でコア（必修）、オプション（関連コース内での選択）およびフリー（大学内での選択）のモジュールに分け、これらを組み合わせ、さまざまな形態の学生のためのカリキュラムを提供している。また、世界中から多くの研究者を受け入れている。

私は、昭和63年度の文部省短期在外研究員として、PCL時代のこの大学に約2か月滞在し、理工学部のL.S.クサンティス教授と構造破壊力学の解析手法について技術交流を行った。理工学部は、ニューカーペンデッシュ通りにあり、地下鉄のグレイトポートランドストリート駅から徒歩5分のところで、ロンドンテレコムタワーのすぐ近くにある。

滞在時は、ちょうど大学創立150年にあたり、ジョージ・ケーリー卿を偲んで、彼が作成した飛行機の模型がBBC放送局のすぐ近くにある大学本部の玄関ロビーの天井につるされ、祝賀ムードを盛り上げていた。

あれから7年が経過したが、今でも教授らの気品さと大学内の庶民的な雰囲気を感じ出すことができる。

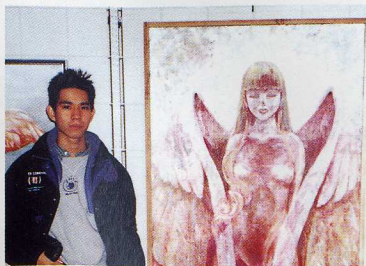
文 藤谷義信（工学部）
写真 Fujitani, Yoshinobu



理工学部（後方にロンドンテレコムタワーが見える）

W III (130×130cm) (Forum gallery)

自分の空を飛びたいな



学校教育学部中学校教員養成課程（美術）藤田健一

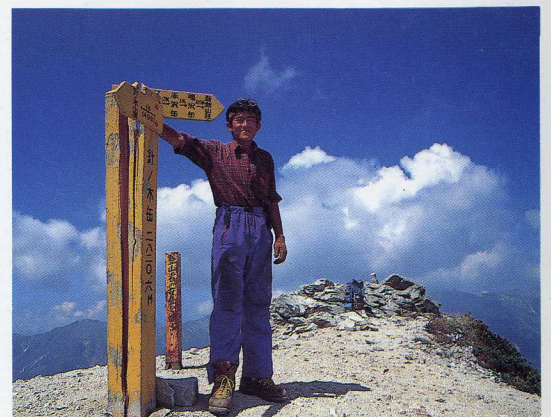
「昇る オリオン」(表紙)

陽が没し、寒さが体を引き締める
残照去れば、中空には勇者の姿
その星々の、周囲を威圧する鋭い輝きは
勇者の力と、そしてその孤独をも思わせる

「力強さとは、孤独に耐えること」
一段と厳しくなる冷気の中、僕はそんな声
を聞いたような声が出た。

（画面中央はオリオン座
上の赤い星は、おうし座のアルデバラン
下の明るい星は、大犬座のシリウス
24mm広角レンズ 絞り F5.6 露出10分
フラジローム RDP II

経済学部3年 滝本勇紀



北アルプス・針ノ木岳山頂にて(1994年8月31日)